

## 冬休みは本気と礼儀正しさを発揮するチャンス！

船引小学校長 安生昌弘

今日は冬休み前の授業が終わる、締めくくりの日ですね。冬休みは夏休みと違って、「1年間で勉強することの大部分が終わっている」とか「年末やお正月がある」とかいうことから皆にとって2つの『チャンス』があるのです。

実は、4月から先生方は指導する時に、学習でも運動でも皆を「本気で頑張る子どもにしよう」(校歌2番「何でも本気で元気よく…」),そして「礼儀正しく落ち着いて行動できる子どもにしよう」(礼節の教育)という2つの事を心掛けてきました。先生方に指導されたことで思い当たる人もいるんじゃないでしょうか。

まず第1の本気で頑張ることについてですが、4月から始まった各学年の学習は、2ヶ月分くらいを残して今日までに終わりました。ですから、「復習」と言って、もう一度学習し直す内容がたくさんあります。これが夏休みとの違いです。そして、分かる・出来る学習と分からない・出来ない学習は人によって違いますから、自分で学習することを考えて勉強しなければなりません。宿題があると勉強するけど、ないと勉強しない人がいるでしょう。だから、本気にならないと「復習」(学習のし直し)はすることができません。特に1月20日に去年と同じように、ちょっと難しい問題の「算数コンテスト」を行います。本気で算数の復習をしないと問題を解くことができないかも知れません。冬休み中に**本気**で勉強しましょう。



第2の礼儀正しくすることについては、Xmas や大晦日、お正月があることがチャンスになります。大人の人に会ったら、礼儀正しくあいさつをするチャンスだし、何かしてもらったら、「ありがとう」というチャンスだからです。大晦日12月31日に家族に「1年間、色々ありがとうございました。」なんて言うと、びっくりされるかも知れませんよ。冬休み中にたくさん**礼儀正しい**言葉づかいやあいさつ、そして行動を心掛けましょう。

今年の冬休みは、普通の年よりちょっと長い17日間ありますが、ボーっとしていると、あっという間に終わってしまいます。ボーっとしていて誰かに叱られないように、自分から進んで取り組む勉強、そして意識して礼儀正しく話したり行動したりすることに頑張ってもらいたいと思います。事故や怪我に気を付けた生活を送って、来年の1月10日(火曜日)に元気に登校し、登校途中に会う大人の方や先生方に「新年おめでとうございます」とあいさつができると素晴らしいと思います。